

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6674659号
(P6674659)

(45) 発行日 令和2年4月1日(2020.4.1)

(24) 登録日 令和2年3月11日(2020.3.11)

(51) Int.Cl. F 1
B 6 O R 1/06 (2006.01) B 6 O R 1/06 D

請求項の数 2 (全 9 頁)

<p>(21) 出願番号 特願2016-50416 (P2016-50416) (22) 出願日 平成28年3月15日 (2016.3.15) (65) 公開番号 特開2017-165166 (P2017-165166A) (43) 公開日 平成29年9月21日 (2017.9.21) 審査請求日 平成31年2月28日 (2019.2.28)</p>	<p>(73) 特許権者 000000170 いすゞ自動車株式会社 東京都品川区南大井6丁目26番1号 (74) 代理人 100107238 弁理士 米山 尚志 (72) 発明者 植田 一弘 神奈川県藤沢市土棚8番地 いすゞ自動車 株式会社 藤沢工場内 審査官 菅 和幸 (56) 参考文献 特開2013-071707 (JP, A)) 特開2005-119635 (JP, A)) 最終頁に続く</p>
--	---

(54) 【発明の名称】 ミラーガーニッシュ取付構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

ドア側のミラーブラケットにドアミラーのミラーベースを固定し、前記ミラーベース及び前記ミラーブラケットを覆うようにミラーガーニッシュを取付けるためのミラーガーニッシュ取付構造であって、

前記ミラーガーニッシュに設けられる取付部と、

前記ミラーベースに設けられ、前記取付部が取付けられる被取付部と、

前記ミラーガーニッシュの周縁部の内面に突設される係止部と、

前記ミラーブラケットの周縁部に設けられ、前記ミラーガーニッシュの前記取付部が前記ミラーベースの前記被取付部に取付けられることにより前記ミラーガーニッシュの前記係止部が係合する係合部と、を備える

ことを特徴とするミラーガーニッシュ取付構造。

【請求項2】

請求項1に記載のミラーガーニッシュ取付構造であって、

前記係止部の外側で前記ミラーガーニッシュの周縁部の内面から突出し、前記ミラーガーニッシュの周縁に沿って延びて前記係止部を覆う板状のガーニッシュフランジ部を備える

ことを特徴とするミラーガーニッシュ取付構造。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ミラーガーニッシュの周縁部の浮き上がりを防止することができるミラーガーニッシュ取付構造に関する。

【背景技術】

【0002】

特許文献1には、上記公報には、ドアミラーのミラーベースを自動車用ドアのミラー取付部に取付けるドアミラー取付構造が記載されている。ミラーベースの外側には、ミラーベースを覆うようにして、ベースカバーが設けられる。ベースカバーの周縁部には、裏面側の内側に向けて複数の爪部が所定間隔で設けられており、これら爪部をミラーベースの周縁部に外側に向けて突設された係合突起部に係合させてベースカバーがミラーベースに

10

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開平11-208374号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

ここで、異なる車種間での部品の共用等の理由から、ミラーベースとミラー取付部（ミラーブラケット）との大きさが合致せず、小さなミラーベース（ミラーガーニッシュ）を大きなミラーブラケットに取付ける場合がある。この場合、ミラーブラケットの略全域を覆うようにベースカバーもミラーベースに比して大きく形成される。

20

【0005】

しかし、上記公報の構造では、ミラーガーニッシュの爪部がミラーベースの係合突起部の位置に合わせて形成され、ミラーガーニッシュの周縁部が爪部の突出基端から離間するので、爪部と係合突起部との係合では、ミラーガーニッシュの周縁部の浮き上がりを防止できない可能性が生じる。

【0006】

そこで、本発明は、ミラーガーニッシュの周縁部の浮き上がりを確実に防止することが可能なミラーガーニッシュ取付け構造の提供を目的とする。

30

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記目的を達成すべく、本発明は、ドア側のミラーブラケットにドアミラーのミラーベースを固定し、ミラーベース及びミラーブラケットを覆うようにミラーガーニッシュを取付けるためのミラーガーニッシュ取付構造であって、取付部と、被取付部と、係止部と、係合部とを備える。

【0008】

取付部は、ミラーガーニッシュに設けられる。被取付部は、ミラーベースに設けられ、ミラーガーニッシュの取付部が取付けられる。係止部は、ミラーガーニッシュの周縁部の内側に突設される。係合部は、ミラーブラケットの周縁部に設けられ、ミラーガーニッシュの取付部がミラーベースの被取付部に取付けられることによりミラーガーニッシュの係止部が係合する。

40

【0009】

上記構成では、ミラーガーニッシュの周縁部に突設された係止部がミラーブラケットの係合部と係合するので、ミラーガーニッシュの周縁部の浮き上がりを確実に防止することができる。

【0010】

また、係止部の外側でミラーガーニッシュの周縁部の内面から突出し、ミラーガーニッシュの周縁に沿って延びて係止部を覆う板状のガーニッシュフランジ部を備えてもよい。

50

【0011】

上記構造では、ガーニッシュフランジ部によって係止部が覆われるので、外観上の見栄えが向上する。

【0012】

また、ガーニッシュフランジ部によってミラーガーニッシュの剛性が増大する。

【発明の効果】

【0013】

本発明によればミラーガーニッシュの周縁部の浮き上がりを確実に防止することができる。

【図面の簡単な説明】

10

【0014】

【図1】本実施形態に係る車両のドアを車室外側から見た側面図である。

【図2】図1のドアの要部分解斜視図である。

【図3】図2のミラーガーニッシュを車室内側から見た斜視図である。

【図4】図1のIV-IV矢視断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0015】

以下、本発明の実施形態について図面を参照して詳細に説明する。なお、以下の説明において、前後方向は車両の前後方向（車両をドアに組付けて閉止したドア閉止状態でのドアの前後方向）を意味し、左右方向は車両の前方を向いた状態での左右方向を意味する。また、ドアに関する以下の方向は、何れもドア閉止状態での方向であり、ドア横方向は前後方向、ドア縦方向は上下方向、ドア幅方向は車幅方向、ドア外側は車幅方向外側（車室外側）、ドア内側は車幅方向内側（車室内側）である。

20

【0016】

本実施形態に係る車両は、車室の前右側と前左側とに左右のドア開口（図示省略）を有する。ドア1の前側は、ドアヒンジ（図示省略）を介してドア開口の前縁部に回転自在に支持され、ドア開口は、ドアヒンジを中心として傾動するドア1によって開閉される。なお、車室の前左側と前右側とには略同じ構造のドアが設けられているため、以下では前左側のドア1について説明し、前右側についての説明は省略する。

【0017】

30

図1及び図2に示すように、ドア1は、ドア外側に配置されるドアアウトパネル2と、ドアアウトパネル2のドア内側に配置されるドアインナパネル3とを備え、ドアアウトパネル2とドアインナパネル3とは、その周縁部分同士が接合されて閉空間を形成する。ドア1の上側領域（ドアアウトパネル2及びドアインナパネル3の上側領域）には、ドア窓開口8が形成される。また、ドア1は、ドアアウトパネル2とドアインナパネル3との間（閉空間内）に、上側領域に配置されるドアサッシュ4と、ドア窓開口8の前下隅部に配置されるドアミラー取付部5と、ドアミラー取付部5に固定されるドアミラー6と、ドアミラー6に取付けられるミラーガーニッシュ7と、ドアアウトパネル2とドアインナパネル3との間で昇降可能に支持されるドアウインドパネル（図示省略）とを備える。ドアウインドパネルは、下降することによってドア窓開口8を開放し、上昇することによって

40

【0018】

ドアアウトパネル2は、ドア前後方向に沿って起立してドア1の外面を形成する。ドアインナパネル3は、ドアアウトパネル2のドア内側に対向配置される。ドアアウトパネル2とドアインナパネル3とは、それぞれ所定形状にプレス成形された金属板材である。

【0019】

ドア1の上側領域（ドアアウトパネル2及びドアインナパネル3との上側領域）は、上窓枠部11と、前窓枠部12と、後窓枠部13とを一体的に有する。上窓枠部11は、ドア窓開口8の上縁部に沿ってドア横方向に延びて、上窓枠部11の下端縁は、ドア窓開口8の下方を区画する。前窓枠部12は、ドア窓開口8の前端縁部に沿って斜め上後方に延

50

びて、前窓枠部 1 2 の後端縁は、ドア窓開口 8 の前方を区画する。後窓枠部 1 3 は、ドア窓開口 8 の後端縁部に沿ってドア縦方向に延びて、後窓枠部 1 3 の前端縁は、ドア窓開口 8 の前方を区画する。ドア 1 のドア窓開口（ドアアウトパネル 2 及びドアインナパネル 3 のドア窓開口）8 の下方の領域（ドア窓開口下方領域 1 4）は、その上端縁がドア窓開口 8 の下方を区画する。ドア 1 の前端縁部（ドアアウトパネル 2 及びドアインナパネル 3 の前端縁部）1 5 は、前窓枠部 1 2 の下端からドア縦方向の下方へ連続して延び、前端縁部 1 5 とドア開口の前縁部とがヒンジを介して連結される。

【 0 0 2 0 】

ドアサッシュ 4 は、ドアインナパネル 3 の上側領域のドア外側（閉空間内）に配置され、上サッシュ部 1 6 と、上サッシュ部 1 6 の前端縁から曲折して斜め下前方に延びるフロントサッシュ部 1 7 と、上サッシュ部 1 6 の後端縁から曲折して下方に延びるリヤサッシュ部 1 8 とを一体的に有する。上サッシュ部 1 6 と、フロントサッシュ部 1 7 と、リヤサッシュ部 1 8 とのドア窓開口 8 側には、長手方向に沿って延びるサッシュ側被嵌合部 1 9 が連続して設けられる。サッシュ側被嵌合部 1 9 には、ガラスラン（図示省略）がドア窓開口 8 側から嵌合する。

10

【 0 0 2 1 】

上サッシュ部 1 6 は、ドアインナパネル 3 の上窓枠部 1 1 のドア外側（閉空間内）に配置され、ドア窓開口 8 の上端縁部に沿ってドア横方向に延びる。フロントサッシュ部 1 7 は、上サッシュ部 1 6 の前端縁から曲折して、前窓枠部 1 2 のドア外側でドア窓開口 8 の前端縁部に沿って斜め下前方に延びる。フロントサッシュ部 1 7 の下端縁部は、ドアインナパネル 3 のドア窓開口下方領域 1 4 の前上端部に配置され、フロントサッシュブラケット（図示省略）を介してドアインナパネル 3 のドア窓開口下方領域 1 4 の前上端部に固定される。リヤサッシュ部 1 8 は、上サッシュ部 1 6 の後端部から曲折して、後窓枠部 1 3 のドア外側でドア窓開口 8 の後端縁部に沿って上下方向に延びる。リヤサッシュ部 1 8 の下端部は、ドアインナパネル 3 のドア窓開口下方領域 1 4 の後上端部に配置され、リヤサッシュブラケット（図示省略）を介してドアインナパネル 3 のドア窓開口下方領域 1 4 の後上端部に固定される。

20

【 0 0 2 2 】

図 2 に示すように、ドアミラー取付部 5 は、ドア窓開口 8 の前下隅部に配置されるミラーブラケット 2 0 と、ミラーブラケット 2 0 の後端縁部（ドア窓開口 8 側）に配置されるブラケット側被嵌合部 2 1 とを有する。

30

【 0 0 2 3 】

ミラーブラケット 2 0 は、ブラケット本体 2 2 と、上下 2 箇所のブラケット係合部（係合部）2 3 と、ブラケット固定部 2 4 とを一体的に有する。ブラケット本体 2 2 は、その前縁部と下端縁部とがドア窓開口 8 の前下隅部に沿う略三角形の板体であり、ドア窓開口 8 の前下隅部でドア前後方向に沿って起立する。ブラケット本体 2 2 の前縁部は、フロントサッシュ部 1 7 の下端部のドア窓開口 8 側に固定され、ブラケット本体 2 2 のドア外側の外面には、ベース固定ボルト 3 7 が螺合可能な雌ネジ孔 2 5 が形成される。ブラケット固定部 2 4 は、ブラケット本体 2 2 の下端縁から下方に延び、ドア外側からフロントサッシュ部 1 7 の下端縁部を覆ってフロントサッシュブラケットに固定される。上下のブラケット係合部 2 3 は、ブラケット本体 2 2 の前縁部の上部と下部とにそれぞれ配置され、各ブラケット係合部 2 3 は、ミラーブラケット 2 0 から斜め上前方に延びる後方部 2 6 と、後方部 2 6 の前端縁からドア外側へ曲折して延びる中間部 2 7 と、中間部 2 7 の前端縁から斜め上前方へ曲折して延びる前方部 2 8 とを一体的に有する。

40

【 0 0 2 4 】

ブラケット側被嵌合部 2 1 は、ミラーブラケット 2 0 の後端縁部に沿って上下方向に延びてドア窓開口 8 側へ開口する凹状断面であり、ブラケット側被嵌合部 2 1 の前面がミラーブラケット 2 0 の後端縁部に固定される。ブラケット側被嵌合部 2 1 には、ガラスラン（図示省略）がドア窓開口 8 側から嵌合する。

【 0 0 2 5 】

50

ドアミラー6は、ミラーブラケット20のドア外側に配置されるミラーベース30と、ミラーベース30に下方から支持されるミラー本体31とを有する。

【0026】

ミラーベース30は、ミラーブラケット20のブラケット本体22のドア外側に配置され、ベース固定部32とミラー支持部33とを一体的に有する。

【0027】

ベース固定部32には、ベース固定部32の外縁部の前面に配置される複数（本実施形態では3箇所）の前ベース固定部側係合凹部34と、ベース固定部32の外縁部の後面に配置される複数（本実施形態では2箇所）の後ベース固定部側係合凹部35と、ボルト挿通孔36とが一体的に形成される。前ベース固定部側係合凹部34は、後述するミラーガーニッシュ7のベース固定部係合爪44と係合する大きさ及び形状で後方に凹み、後ベース固定部側係合凹部35は、後述するミラーガーニッシュ7のベース固定部係合爪44と係合する大きさ及び形状で前方に凹む。ボルト挿通孔36は、ミラーブラケット20の雌ネジ孔25に対応する位置で、ベース固定部32のドア外側とドア内側とを連通し、ベース固定ボルト37のボルト軸38が挿通可能で且つベース固定ボルト37のボルト頭39は挿通不可能な大きさの円形状である。ミラーベース30のベース固定部32をミラーブラケット20のブラケット本体22のドア外側に重ね、ボルト挿通孔36を雌ネジ孔25に合わせ、ボルト挿通孔36のドア外側からベース固定ボルト37を挿通し、ベース固定ボルト37を雌ネジ孔25に螺合して締結することによって、ミラーベース30はミラーブラケット20に固定される。

10

20

【0028】

ミラー支持部33は、ベース固定部32の下端部からドア外側後方に突出して、ミラー本体22を下方から支持し、複数（本実施形態では2箇所）のミラー支持部側係合凹部40を一体的に有する。ミラー支持部側係合凹部40は、ミラー支持部33の外縁部に複数箇所（本実施形態では、ミラー支持部33の外縁部の下面に1箇所とミラー支持部33の外縁部の後面に1箇所）配置される。

【0029】

図2～図4に示すように、ミラーガーニッシュ7は、ミラーブラケット20及びミラーベース30のドア外側に配置されるガーニッシュ本体41と、ガーニッシュ本体41の後端下部からドア外側後方へ突出するガーニッシュ突出部42とを一体的に有する。

30

【0030】

ガーニッシュ本体41には、上下2箇所のブラケット係止爪（係止部）43と、複数（本実施形態では5箇所）のベース固定部係止爪44と、ガーニッシュフランジ部45とを有する。上下のブラケット係止爪43は、ミラーブラケット20の上下のブラケット係合部23と係合可能な係合部として、ミラーガーニッシュ7のドア内側からそれぞれ突設される。複数のベース固定部係止爪44は、ミラーベース30の複数の前ベース固定部側係合凹部34及び複数の後ベース固定部側係合凹部35を係合可能な係合部として、ガーニッシュ本体41のドア内側からそれぞれ突設される。ガーニッシュフランジ部45は、上下のブラケット係止爪43の外側でミラーガーニッシュ7の周縁部から突出する板体であり、ミラーガーニッシュ7の周縁を沿って延びて上下のブラケット係止爪43を覆う。ガーニッシュフランジ部45のミラーガーニッシュ7の内面からの突出高さは、ガーニッシュフランジ部45の近傍に配置されるブラケット係止爪43の突出高さ以上に設定されている。

40

【0031】

ガーニッシュ突出部42には、複数（本実施形態では2箇所）のミラー支持部係止爪46が一体的に形成される。複数のミラー支持部係止爪46は、複数のミラー支持部側係合凹部40を係合可能な係合部として、ガーニッシュ突出部42のドア内側からそれぞれ突設される。ガーニッシュ突出部42は、ミラーガーニッシュ7がミラーベース30及びミラーブラケット20に取付けたガーニッシュ取付状態において、ミラーベース30のミラー支持部33をドア外側から覆い、ミラーガーニッシュ7の上下方向の移動を阻止する。

50

【 0 0 3 2 】

ミラーガーニッシュ7をミラーベース30及びミラーブラケット20に取付ける場合、ミラーガーニッシュ7をミラーベース30及びミラーブラケット20のドア外側から覆い、ミラーガーニッシュ7の複数のベース固定部係止爪44及びミラー支持部係止爪46をミラーベース30の複数の前ベース固定部側係合凹部34、後ベース固定部側係合凹部35及び複数のミラー支持部側係合凹部40にドア外側から係合する事によって、ミラーガーニッシュ7がミラーベース30に取付られる。係る取付けにより、ミラーガーニッシュ7の上下のブラケット係止爪43がミラーブラケット20の上下のブラケット係合部23に係合し、ミラーガーニッシュ7がミラーブラケット20に取付けられる。

【 0 0 3 3 】

本実施形態によれば、ミラーガーニッシュ7の周縁部に突設されたブラケット係止爪43がミラーブラケット20の上下のブラケット係合部23と係合するので、ミラーガーニッシュ7の周縁部の浮き上がりを確実に防止することができる。

【 0 0 3 4 】

また、ガーニッシュフランジ部45によってブラケット係止部43が覆われるので、外観上の見栄えが向上する。

【 0 0 3 5 】

また、ガーニッシュフランジ部45によってミラーガーニッシュ7の剛性が増大する。

【 0 0 3 6 】

なお、上記実施形態では、ミラーブラケット20のブラケット係合部23及びミラーガーニッシュ7のブラケット係止爪43は、上部と下部との2箇所としたが、これに限定されず、ブラケット係合部23をミラーブラケット20の前端縁の略全域に設け、ブラケット係止爪43をブラケット係合部23に係合可能にミラーガーニッシュ7のドア内側に突設する形状、又は、ブラケット係合部23及びブラケット係止爪43を3箇所以上設ける形状でもあってもよい。

【 0 0 3 7 】

以上、本発明者によってなされた発明を適用した実施形態について説明したが、この実施形態による本発明の開示の一部をなす論述及び図面により本発明は限定されることはない。すなわち、この実施形態に基づいて当業者等によりなされる他の実施形態、実施例及び運用技術等は全て本発明の範疇に含まれることは勿論であることを付け加えておく。

【 産業上の利用可能性 】

【 0 0 3 8 】

本発明に係るミラーガーニッシュの取付構造は、車両のドアに広く利用することができる。

【 符号の説明 】

【 0 0 3 9 】

- 1 ドア
- 2 ドアアウトパネル
- 3 ドアインナパネル
- 4 ドアサッシュ
- 5 ドアミラー取付部
- 6 ドアミラー
- 7 ミラーガーニッシュ
- 8 ドア窓開口
- 1 1 上窓枠部
- 1 2 前窓枠部
- 1 3 後窓枠部
- 1 4 ドア窓開口下方領域
- 1 5 前端縁部
- 1 6 上サッシュ部

10

20

30

40

50

1 7	フロントサッシュ部	
1 8	リヤサッシュ部	
1 9	サッシュ側被嵌合部	
2 0	ミラーブラケット	
2 1	ブラケット側被嵌合部	
2 2	ブラケット本体	
2 3	ブラケット係合部 (係合部)	
2 4	ブラケット固定部	
2 5	雌ネジ孔	
2 6	後方部	10
2 7	中間部	
2 8	前方部	
3 0	ミラーベース	
3 1	ミラー本体	
3 2	ベース固定部	
3 3	ミラー支持部	
3 4	前ベース固定部側係合凹部	
3 5	後ベース固定部側係合凹部	
3 6	ボルト挿通孔	
3 7	ベース固定ボルト	20
3 8	ボルト軸	
3 9	ボルト頭	
4 0	ミラー支持部側係合凹部	
4 1	ガーニッシュ本体	
4 2	ガーニッシュ突出部	
4 3	ブラケット係止爪 (係止部)	
4 4	ベース固定部係止爪	
4 5	ガーニッシュフランジ部	
4 6	ミラー支持部係止爪	

フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , DB名)

B 6 0 R 1 / 0 6